

要 旨

平成18年3月24日
調査統計部企業統計室

平成18年4-6月期の先行きDI

- ・売上高の現状判断は、前期に引き続き悪化したが、先行き大幅な改善を見込む。すべての地域で改善し、特にアジア地域で大幅な改善の見込み。中国の大幅な改善が目立つ。
- ・設備投資額の現状判断は、北米及びNIEs3を除き改善し、先行きもNIEs3及び欧州を除くすべての地域で改善の見込み。
- ・従業者数は、アジア地域では改善するも、北米及び欧州が悪化し、わずかに悪化。

平成17年 10-12 月期の実績

- ・売上高は、9期ぶりに前年同期比 1桁台の増加。輸送機械は好調なるも電気機械は低い伸び。中国は引き続き増加。ASEAN4、NIEs3は伸び悩む。北米は増加し、欧州は横ばい。
- ・設備投資額は、北米を除くすべての地域で増加。アジア地域ではNIEs3が大幅に増加。欧州は 1桁台の増加。北米は電気機械の大幅な減少により 3期連続の減少。
- ・従業者数は、アジア地域で引き続き増加。特に中国は 2桁台と堅調に推移。北米はやや減少。

今回調査のポイント

調査時点：平成18年2月中旬

1. 売上高先行きDI^{*1}は、25.5%ポイントで先行き大幅な改善を見込む。実績は、前年同期比 8.1%増と9期ぶり1桁台の増加にとどまるも、依然として堅調な伸び。

現状判断DIは、北米及びNIEs3^{*2}を除き悪化。先行きDIは、アジア地域を中心に大幅に改善し、すべての地域で2桁台のプラス水準。先行きDIの前期比は、特にアジア地域で大幅に改善し、なかでも中国^{*3}の大幅な改善が目立つ。ASEAN4^{*4}及びNIEs3も2桁台の改善。

実績は、欧州を除くすべての地域で引き続き増加。アジア地域では輸送機械の好調により、14期連続2桁台の増加。なかでも、中国は電気機械が2期連続2桁台の増加、輸送機械も大幅に増加したことから伸び率を高めている。NIEs3は電気機械等の減少により、依然1桁台の低い伸びにとどまった。ASEAN4は輸送機械が引き続き好調。北米は輸送機械は増加したものの、鉄鋼の減少により、1桁台の増加。欧州は電気機械が増加したが、輸送機械がわずかな増加にとどまり、横ばい。

2. 設備投資額先行きDIは、15.3%ポイントで先行き改善を見込む。実績は、前年同期比 4.4%増と12期連続の増加。

現状判断DIは、北米及びNIEs3を除き改善。先行きDIも、NIEs3及び欧州を除き改善を見込み、すべての地域でプラス水準。先行きDIの前期比は改善の見込み。アジア地域では、中国は電気機械が改善し改善。ASEAN4は輸送機械がわずかに悪化するも改善。NIEs3はわずかに悪化。北米は輸送機械の改善により大幅に改善。欧州は電気機械、輸送機械の悪化により、わずかに悪化。

実績は、北米を除くすべての地域で増加。アジア地域は10期ぶりに1桁台の増加。ASEAN4は輸送機械の増加により引き続き増加。NIEs3は電気機械、輸送機械の増加により、大幅に増加。中国は輸送機械が増加するも、電気機械の減少により、1桁台の低い伸びにとどまった。欧州は輸送機械の減少により6期ぶりに1桁台の増加。北米は輸送機械が増加したが電気機械の大幅な減少により、引き続き減少。

3. 従業者数先行きDIは、9.1%ポイント。実績は、前年同期比 5.5%増と引き続き増加。

現状判断DIは、すべての地域でプラス水準を維持。先行きDIは、欧州を除くすべての地域でプラス水準。先行きDIの前期比は、わずかに悪化。アジア地域ではすべての地域で改善。北米は輸送機械の悪化により悪化。欧州は電気機械、輸送機械の悪化により、やや悪化。

実績は、アジア地域では引き続き増加。中国は電気機械、輸送機械等の増加により引き続き増加。ASEAN4は、輸送機械の増加により増加。NIEs3は、輸送機械の増加によりやや増加。北米は電気機械の減少によりわずかに減少。欧州は輸送機械の増加により、3期連続の増加となった。

注 *1：DIの調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査

・DI = 「増加と回答した企業の割合」 「減少と回答した企業の割合」

・現状判断DIの前期比 = 「平成18年1-3月DI(現状判断)」 - 「平成17年10-12月DI(現状判断)」

・先行きDIの前期比 = 「平成18年4-6月DI(先行き)」 - 「平成18年1-3月DI(現状判断)」

*2 NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国 *3 中国：香港を含む。

*4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

1. 売上高

□売上高の現状判断DI(18年1-3月)の前期比は、4.4%ポイントと悪化したものの、NIEs3を除くすべて地域で2桁台の水準を維持。先行きDI(18年4-6月)の前期比は、11.9%ポイントと大幅に改善し、すべての地域で2桁台の水準となった。

- ・現状判断DIは、北米及びASEAN4を除き悪化したものの、すべての地域でプラス水準。
- ・先行きDIは、すべての地域で改善。特にアジア地域で大幅に改善。なかでも中国は電気機械等の改善により大幅に改善。

□売上高実績は、前年同期比8.1%増と9期ぶりに1桁台の増加にとどまった。北米は、電気機械が3期ぶりに増加したものの、鉄鋼が減少し2期連続で1桁台の増加にとどまった。欧州は、電気機械及び輸送機械が伸び悩み、横ばいとなった。一方、アジア地域では輸送機械が好調で引き続き2桁台の増加。特に、中国は電気機械が増加し、引き続き増加。ASEAN4は、電気機械がやや伸び悩み14期ぶりに1桁台の増加にとどまった。NIEs3は、電気機械等が引き続き減少し、3期連続で1桁台の増加。

(参考)海外経済 世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国では景気は拡大が続いている。台湾、シンガポールでは外需を中心に景気は拡大している。マレーシアでは内需を中心に景気は拡大している。タイでは景気の拡大は緩やかになっている。韓国では景気は回復している。ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は回復している。
(月例経済報告(平成18年3月)より抜粋)

(1) 売上高現状判断DI(18年1-3月)は、13.6%ポイントと前期現状判断DI(17年10-12月)に比べ4.4%ポイントと悪化。

先行きDI(18年4-6月)は、25.5%ポイントと今期現状判断DI(18年1-3月)に比べ、同11.9%ポイントの大幅な改善となった。

(1表、1図、2図)

- ・現状判断DIは、NIEs3が1桁台の水準にとどまったもの、他の地域は2桁台のプラス水準。先行きDIは、NIEs3が改善し、すべての地域で2桁台のプラス水準となった。
- ・先行きDIの前期比は、11.9%ポイントと大幅に改善。アジア地域では、中国は電気機械及び一般機械がともに改善し、大幅に改善した。ASEAN4は、電気機械の大幅な改善により改善。NIEs3は、輸送機械は悪化したものの、電気機械の改善により大幅に改善。北米は輸送機械が悪化した、電気機械の大幅な改善により改善。欧州は、電気機械及び輸送機械

が悪化したものの、化学及び一般機械の改善により改善。

(2) 売上高実績(ドルベース)は、前年同期比8.1%増と9期ぶりに1桁台の増加にとどまった。

(1表、1図、3図)

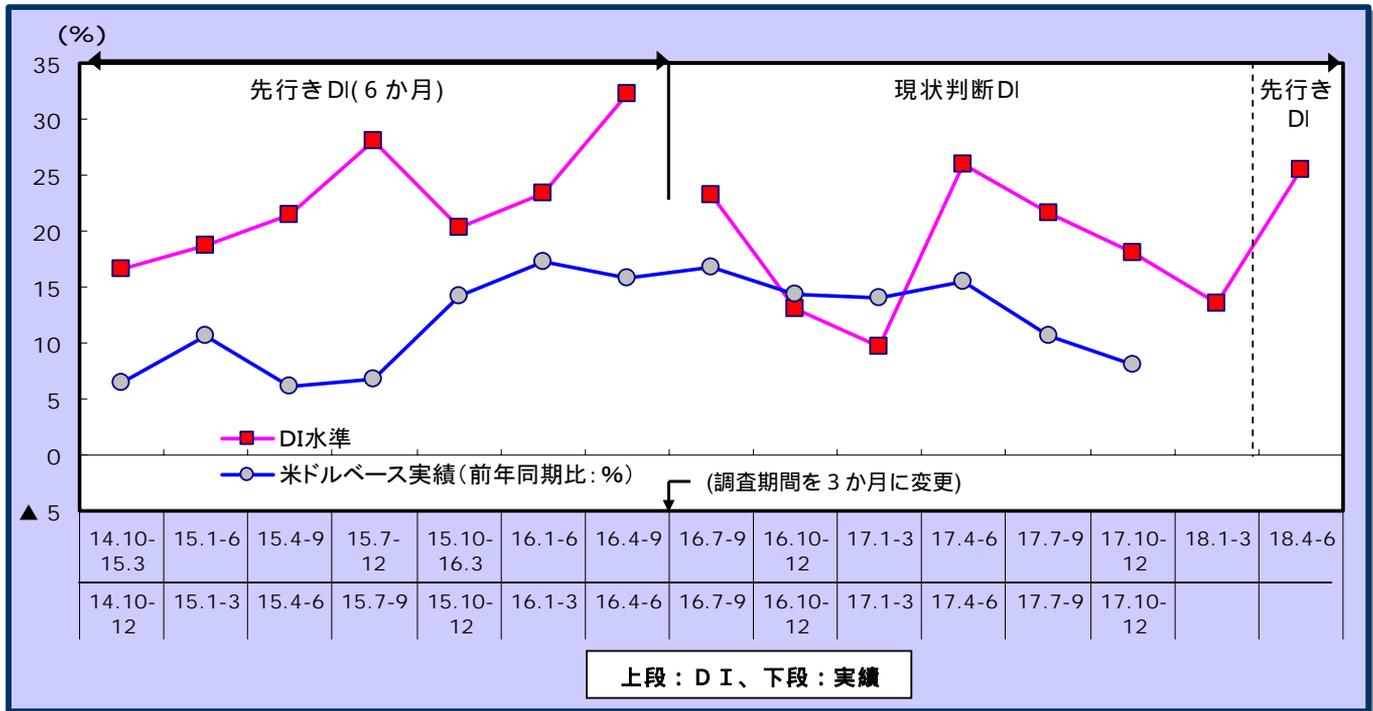
- ・アジア地域では、ASEAN4は、輸送機械が引き続き大幅に増加したが、電気機械が5期連続して低い伸びとなり、14期ぶりに1桁台の増加にとどまった。NIEs3は、輸送機械は増加したが、電気機械等が減少し、3期連続して1桁台の増加にとどまった。中国は、好調な輸送機械に加え、電気機械が2期連続2桁台の伸びにより、引き続き増加。北米は、電気機械が3期ぶりに増加し、輸送機械も引き続き増加したが、鉄鋼が減少し2期連続して1桁台の増加にとどまった。欧州は電気機械が増加に転じたものの、好調に推移していた輸送機械の伸びがわずかで、横ばいとなった。

1表 売上高のDI及び実績(地域・主要業種別)

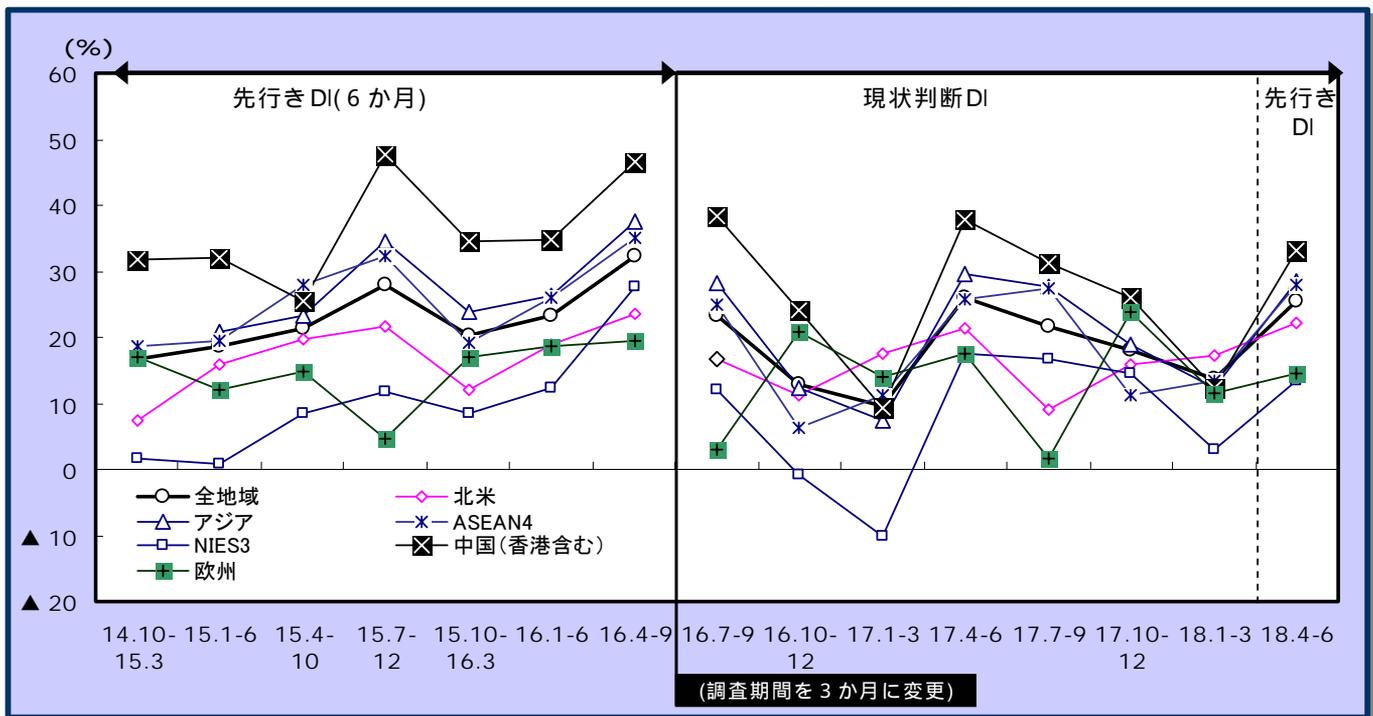
(単位: DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %)

	DI					実績 (前年同期比)		DI					実績 (前年同期比)
	前期調査		今期調査		前期比			前期調査		今期調査		前期比	
	現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)	現状判断 (-)				先行き (-)	現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)		
計(地域・業種)	18.0	→ 13.6	→ 25.5	(4.4)	11.9	8.1	輸送機械	24.8	→ 27.1	→ 26.2	(2.3)	0.9	13.5
北米	16.0	→ 17.2	→ 22.1	(1.2)	4.9	7.6	電気機械	15.6	→ 5.6	→ 20.3	(10.0)	14.7	3.8
アジア	18.9	→ 12.3	→ 28.6	(6.6)	16.3	11.9	一般機械	26.9	→ 16.6	→ 26.6	(10.3)	10.0	10.0
ASEAN4	11.2	→ 13.4	→ 27.9	(2.2)	14.5	9.2	化学	23.2	→ 21.1	→ 32.2	(2.1)	11.1	6.8
NIEs3	14.4	→ 2.9	→ 13.5	(11.5)	10.6	5.5	鉄鋼	3.5	→ 4.5	→ 19.1	(8.0)	14.6	9.4
中国(香港含む)	26.0	→ 12.4	→ 33.1	(13.6)	20.7	18.5							
欧州	23.7	→ 11.6	→ 14.6	(12.1)	3.0	0.0							

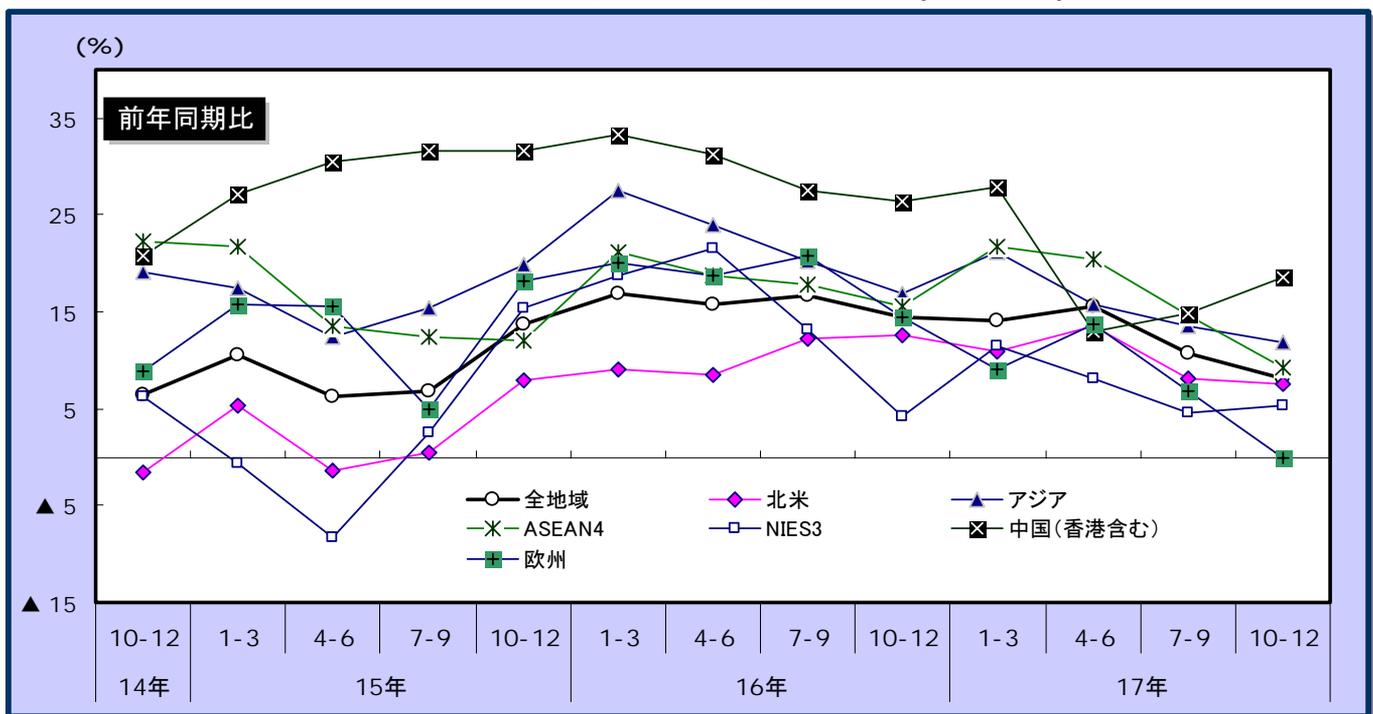
1図 売上高のDIと実績(ドルベース)の推移 (全地域)



2図 売上高DIの推移(地域別)



3図 売上高実績(ドルベース)の推移(地域別)



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

□設備投資額の現状判断DI（18年1-3月）の前期比は、北米及びNIEs3を除くすべての地域で改善。先行きDI（18年4-6月）の前期比も、NIEs3及び欧州を除くすべての地域で改善を見込む。

- ・現状判断DIは、北米及びNIEs3は悪化するものの、他の地域で改善し、やや改善。すべての地域でプラス水準。
- ・先行きDIは、NIEs3及び欧州が悪化した、他の地域は改善し改善。NIEs3及び欧州を除く地域で2桁台のプラス水準。

□設備投資額の実績は、前年同期比 4.4%増で 12期連続の増加。北米を除くすべての地域で増加した。アジア地域は、10期ぶりに1桁台の増加にとどまった。中国及びASEAN4ともに1桁台の増加。NIEs3は、同 49.6%増と大幅に増加。欧州は、輸送機械が7期ぶりに減少し6期ぶりに1桁台の増加にとどまった。北米は輸送機械が増加したものの、電気機械の3期連続の大幅な減少により、3期連続の減少となった。

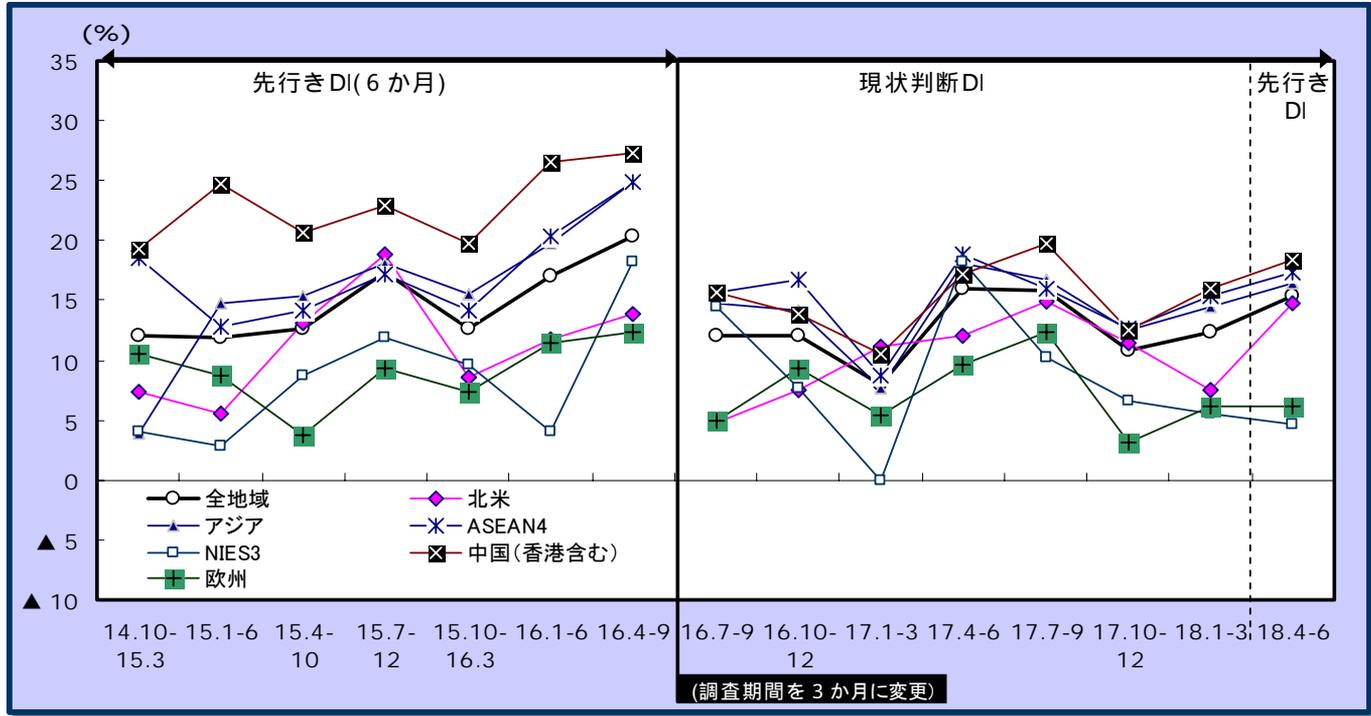
- (1) 設備投資額の現状判断DI(18年1-3月)は、12.4%ポイントと前期現状判断DI(17年10-12月)に比べ、1.5%ポイントとやや改善した。NIEs3及び北米を除くすべての地域で改善。北米、NIEs3及び欧州は1桁台の水準。
- 先行きDI(18年4-6月)は、15.3%ポイントと今期現状判断(18年1-3月)に比べ、2.9%ポイントと改善した。NIEs3及び欧州を除き2桁台のプラス水準。(2表、4図)
- ・先行きDIの前期比は、2.9%ポイントと改善。アジア地域(前期比 2.0%ポイント)では、中国が電気機械の改善により改善。ASEAN4(同 2.1%ポイント)は、輸送機械、電気機械の悪化により、化学等の改善により改善。NIEs3(同 0.9%ポイント)は、電気機械の悪化により悪化。北米(同 7.2%ポイント)は、電気機械が悪化した、輸送機械が改善し改善。欧州(同 0.1%ポイント)は、化学は改善したが、輸送機械、電気機械の悪化により、わずかに悪化。
- (2) 設備投資額の実績(ドルベース)は、前年同期比 4.4%増と12期連続の増加。(2表、5図)
- ・北米は3期連続の減少となったが、他の地域では、いずれも増加となった。アジア地域(前年同期比 9.8%増)では、ASEAN4は、輸送機械は引き続き増加したものの、電気機械がやや減少し、化学、鉄鋼も大幅に減少したため、1桁台の増加にとどまった。中国は、電気機械が2期連続で減少したことにより、1桁台の増加となった。NIEs3は、輸送機械が引き続き大幅に増加し、電気機械も5期ぶりに増加したこと、大幅な増加となった。欧州(同 4.7%増)は、電気機械及び化学が増加したものの、輸送機械及び一般機械が減少したため、6期ぶりに1桁台の増加にとどまった。北米(同 5.3%減)は3期連続の減少。輸送機械(同 32.3%増)は5期ぶりに大幅に増加したが、電気機械(同 77.1%減)は3期連続で大幅に減少した。

2表 設備投資額のDI及び実績（地域・主要業種別）

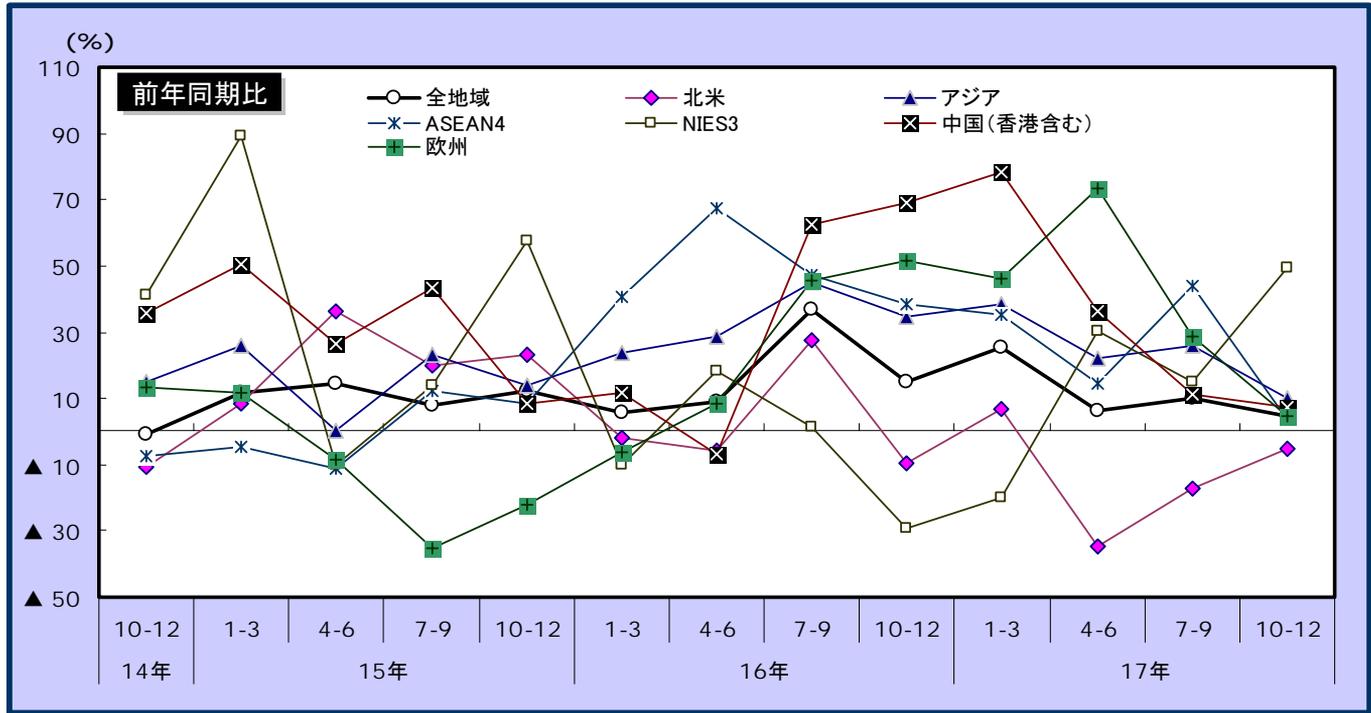
(単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %)

	DI					実績 (前年同期比)		DI					実績 (前年同期比)
	前期調査		今期調査		前期比			前期調査		今期調査		前期比	
	現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)	現状判断 (-)				先行き (-)	現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)		
計(地域・業種)	10.9	→ 12.4	→ 15.3	(1.5)	2.9	4.4	輸送機械	13.9	→ 18.1	→ 23.1	(4.2)	5.0	22.0
北米	11.5	→ 7.5	→ 14.7	(4.0)	7.2	5.3	電気機械	8.7	→ 10.3	→ 8.9	(1.6)	1.4	31.7
アジア	12.5	→ 14.5	→ 16.5	(2.0)	2.0	9.8	一般機械	17.9	→ 16.1	→ 13.2	(1.8)	2.9	1.8
ASEAN4	12.7	→ 15.3	→ 17.4	(2.6)	2.1	3.6	化学	12.6	→ 8.3	→ 15.4	(4.3)	7.1	3.1
NIEs3	6.6	→ 5.5	→ 4.6	(1.1)	0.9	49.6	鉄鋼	4.0	→ 11.5	→ 27.8	(7.5)	16.3	12.3
中国(香港含む)	12.5	→ 16.0	→ 18.4	(3.5)	2.4	7.2							
欧州	3.1	→ 6.2	→ 6.1	(3.1)	0.1	4.7							

4図 設備投資額DIの推移 (地域別)



5図 設備投資額実績(ドルベース)の推移(地域別)



3. 雇用

- 従業者数先行きDI（18年4-6月）は、9.1%ポイント。欧州を除くすべての地域でプラス水準。アジア地域は改善するも、北米及び欧州は悪化。
 - ・ 現状判断DI（18年1-3月）は、すべての地域でプラス水準。前期比では、NIEs3を除くすべての地域で改善。
 - ・ 先行きDIの前期比は、わずかに悪化。欧州はやや悪化し、北米は輸送機械が悪化し悪化。アジア地域はやや改善。
- 従業者数の実績（平成17年12月末）は、前年同期比 5.5%増と引き続き増加。アジア地域では、中国は、同 10.2%増と3期連続して2桁台の増加。ASEAN4も同 5.5%の増加。NIEs3は同1.7%とやや増加。欧州は同 2.2%の増加。北米は、同 0.8%減とわずかに減少。

- (1) 従業者数現状判断DI(18年1-3月)は、10.0%ポイントで前期現状判断DI(17年10-12月)に比べ、2.7%ポイントの改善。
先行きDI(18年4-6月)は、9.1%ポイントで今期現状判断DI(18年1-3月)に比べ 0.9%ポイントとわずかに悪化。 (3表)
- (2) 従業者数(平成17年12月末)は 281万人で、前年同期比 5.5%増と引き続き増加した。 (3表)
- ・ アジア地域では引き続きの増加。中国は、輸送機械及び電気機械が引き続き増加し、3期連続 2桁台の増加。ASEAN4は、輸送機械の増加により、前年同期比 5.5%増の増加。NIEs3は、電気機械は減少したものの、輸送機械が引き続き増加し、同 1.7%増とやや増加した。欧州は、電気機械が引き続き減少したが、輸送機械の 3期連続 2桁台の増加により、同 2.2%増の増加。北米は、輸送機械は増加となったものの、電気機械が引き続き減少し、同 0.8%減とわずかな減少となった。
 - ・ 先行きDIの前期比は、0.9%ポイントとわずかに悪化。アジア地域は、同 1.5%ポイントとやや改善。ASEAN4は改善し、NIEs3及び中国はわずかに改善。北米は、輸送機械の悪化により、同 6.3%ポイントと悪化した。欧州は、輸送機械、電気機械の悪化により、同 1.6%ポイントとやや悪化した。

3表 従業者数のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

	DI					実績 (前年同期比)		DI					実績 (前年同期比)				
	前期調査		今期調査					前期比		前期調査		今期調査			前期比		
	現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)	現状判断 (-)	先行き (-)			現状判断 (17.10-12)	現状判断 (18.1-3)	先行き (18.4-6)	現状判断 (-)	先行き (-)					
計(地域・業種)	7.3	→ 10.0	→ 9.1	(2.7)	0.9	5.5	輸送機械	12.4	→ 18.5	→ 14.4	(6.1)	4.1	11.1				
北米	5.4	→ 10.4	→ 4.1	(5.0)	6.3	0.8	電気機械	7.4	→ 6.9	→ 7.0	(0.5)	0.1	3.5				
アジア	10.3	→ 10.6	→ 12.1	(0.3)	1.5	7.8	一般機械	12.4	→ 10.7	→ 10.0	(1.7)	0.7	10.2				
ASEAN4	9.2	→ 9.4	→ 12.4	(0.2)	3.0	5.5	化学	5.0	→ 9.9	→ 7.8	(4.9)	2.1	1.5				
NIEs3	5.5	→ 0.4	→ 0.9	(5.1)	0.5	1.7	鉄鋼	0.0	→ 8.7	→ 4.4	(8.7)	4.3	1.3				
中国(香港含む)	12.5	→ 15.1	→ 15.9	(2.6)	0.8	10.2											
欧州	4.6	→ 0.8	→ 0.8	(5.4)	1.6	2.2											